

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2014.10.15 No. 209 連絡先 FAX 042-555-1911



横田基地所属のC-130H が着陸時トラブル 滑走路が一時閉鎖



10月7日16時半頃、横田基地所属のC-130H（374AW 司令官指定機）が着陸時トラブルがあり、消防車、救急車、パトカーなど集まってました。

事故を起こした機体は、左に傾いた状態で滑走路に立ち往生。20時～21時ライトで照らしながらジャッキで機体

を持ち上げ、タイヤ交換をしたそうです。

滑走路が一時閉鎖されました。

福生市が横田基地に照会したところ、「着陸時にタイヤに不具合がみられたため、消防の緊急対応要員が念のため現場に招集されました。本件については、現在、調査中です。」とのこと。赤旗記者の質問に、横田基地広報部からは、「着陸時に車輪の不具合があり、予防策として現場に消防隊等を待機させた。原因は現在調査中で、詳細はお話できない」と連絡があったそうです。事故は原因究明し、公開を！



嘉手納基地でも軍用機トラブルが相次いでいた そしてイギリスで

9月4日午前8時50分頃、嘉手納基地を離陸しようとしたF15戦闘機が、滑走路を走行中、前輪から白煙が上がり、離陸をとりやめ。同日午後5時過ぎには、垂直離着陸式のハリアー攻撃機が、滑走路に着陸した直後エンジン部分から煙が上がり、消防車が放水するトラブルが。

3日から4日にかけて、F15の緊急着陸も相次いでいました。10月7日、イギリスで嘉手納と同型機の米空軍F15戦闘機が墜落・炎上。現場は民家から約90m、小学校から約350mの距離。小学校の生徒らが避難するなど一時周辺が混乱。パイロットは緊急脱出、無事。人的被害なし。



10月25日(土) 横田基地もいらない! 市民交流集会

みなさんお誘いあわせてご参加を!

会場: 福生市民会館大ホール (JR 青梅線 牛浜駅下車)

午前の部 10時 横田基地めぐり (参加費 1000円、申し込み必要)

10時 DVD 上映「辺野古・高江のたたかい」「横田基地もいらない! 2」

午後の部 13時開演 オープニング 天 (SORA) の和太鼓演奏
メイントーク (対話形式)

横田基地で進む日米軍事一体化 話し手 内藤 功さん (弁護士)
連続トーク 集会参加者の発言 特別発言・基調報告・デモ行進等

◎ 10月19日(日)は、オスプレイ反対、横田座り込みです!

10月18日、オスプレイ 東富士・北富士で離着陸訓練 (No. 209 の裏面)

10月4日の東富士・北富士オスプレイ訓練は3日に中止の連絡がありました。ところが、前日の2日、南関東防衛局より「米海兵隊のMV-22オスプレイ1機又は2機が、10月18日(土)、東富士演習場及び北富士演習場において離着陸訓練を実施する可能性がある」旨の連絡。翌3日の「東富士演習場週間使用計画」には、「10月18日(土)は、1300から2200までの間」「演習場全域において発着訓練を実施。」と記載。4日と同内容の訓練です。(キャンプ富士前 監視活動本部テント↑)



防衛省南関東防衛局は10日、オスプレイが18日に米海軍厚木基地(大和、綾瀬市)に飛来する可能性がある、と地元自治体に連絡しました。厚木基地に飛来すれば8月25日以来です。

オスプレイ飛行 事前情報提供中止 在日米海軍司令官が神奈川県知事に

在日米海軍のテリー・クラフト司令官は8日、MV22オスプレイについて「飛行がルーティン化(常態化)する中で、個別に情報提供することは考えていない」と述べ、米海軍厚木基地への飛来情報の事前提供を将来的に中止する考えを示しました。神奈川県との会談後、黒岩祐治知事が明らかにしました。知事によると、会談でクラフト司令官は「オスプレイは米軍の中でも最も安全な飛行機。普通の飛行機として運用されていく」と説明。ここにも安全神話が。

会談は、日米の相互理解を深め協力関係を築く場として知事が定期開催を提案し、今回で3回目。8日は在日米陸軍のジェームズ・ブーザー司令官を含む3者が、在日米海軍司令部(横須賀市)で1時間10分にわたり非公開で実施しました。県や基地に関係する11市は再三にわたり、飛行計画や訓練方法などの情報提供を日本政府に要請してきました。危険なオスプレイの情報が隠されると、住民の監視も制限され、オスプレイの飛行はますます危険になります! **26日**

は自衛隊観閲式 安倍晋三首相が出席 MVオスプレイも展示

防衛省は10日、航空自衛隊百里基地(茨城県小美玉市)で、**防衛省・自衛隊60周年記念航空観閲式**を26日に行うと発表しました。安倍晋三首相が出席し、訓示します。MV22オスプレイなどの展示も行われます。場所は航空自衛隊百里基地及び同周辺空域です。

主催者は防衛大臣、実施責任者は航空幕僚長、執行者は航空総隊司令官です。

人員は約740名(観閲地上部隊)、車両は約25両、航空機は約80機という規模です。

装備品地上展示として自衛隊機 約20機程度。自衛隊機以外に、米海兵隊のMV-22オスプレイ(1機)及びF-35モックアップ機(模型)の地上展示を行う予定。

オスプレイ 11月、大規模災害訓練「みちのく ALERT 2014」に参加

陸上自衛隊東北方面隊が11月上旬に主催する大規模災害訓練「みちのく ALERT(アラート)2014」に、MV22オスプレイ2機が参加し、気仙沼市の大島と石巻湾の海自輸送艦から霞目駐屯地(仙台市若林区)への患者搬送や、同駐屯地から大島への救援物資輸送の訓練を実施します。

みちのくアラートには東北方面隊を基幹とする陸、海・空自衛隊の約1万3000人と、車両約1,200両、航空機約40機、艦船2隻などが参加。米軍からは、在日米陸軍約50名、航空機3機(UH60)、第3海兵機動展開部隊約50名、航空機3機(MV22オスプレイ2機、KC130J1機)、豪軍から隊員数人が参加。東北6県と51市町村、主要病院などの関係機関も加わります。